

2001年5月の大気大循環と世界の天候

大気大循環

北半球500 hPa 高度では、波数4の波が卓越し、東西方向に正・負の偏差が波列状に分布した。ヨーロッパ、西シベリア、ベーリング海、北アメリカ北東部ではリッジ場で顕著な正偏差が分布し、ロシア西部、中国北部、アラスカ、大西洋中部ではトラフ場で負偏差となった。太平洋中央部では負偏差となり、太平洋東部からアメリカ合衆国西部では正偏差が分布した。

対流活動はアラビア海、ベンガル湾、インドシナ半島、また、フィリピンからインドネシア北部で平年より活発、インド洋の赤道付近では不活発であった。

200 hPa 速度ポテンシャルの分布図を見ると、大規模発散域の中心はフィリピン北部、マレー半島付近、ニューギニア島の北東に分かれて位置した。南アメリカ付近の発散域の中心はコロンビア付近に位置した。

SOI (南方振動指数) は-0.8で負の値に転じた。-0.5より小さい値は1998年4月以来である。

世界の天候

① 本州から華中の高温・少雨

中国で2300万ヘクタールの農地に被害が出るなど、中国、朝鮮半島での干ばつの影響が報じられた。

② 南西諸島から華南の多雨

③ 西シベリアからパキスタンの高温

パキスタンでは熱波により少なくとも30人が死亡したと報じられた。

④ トルコの多雨

⑤ ヨーロッパ西部の少雨

月降水量はヨーロッパ中部から西部で少なく、西部では異常少雨となったところもあった。

⑥ ラブラドル半島の高温

⑦ カナダ中部から米国中西部の多雨

⑧ 米国西部の高温・少雨

カリフォルニア州などで森林火災の被害が報じられた。

⑨ アラスカの低温

⑩ ニュージーランドからメラネシアの高温

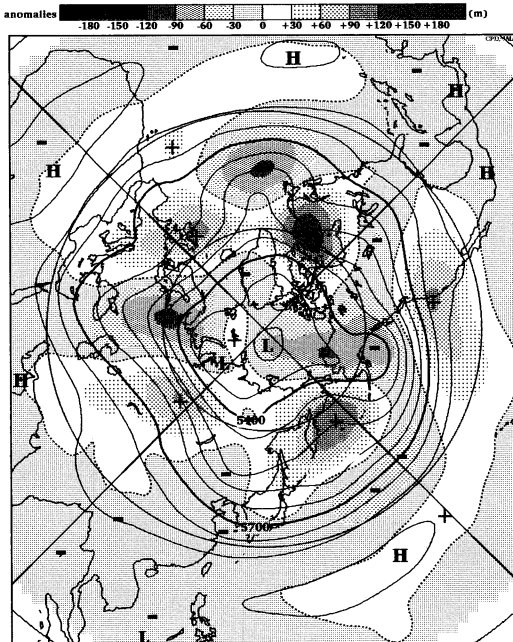
⑪ オーストラリア東部の低温

月平均気温はオーストラリアとポリネシアで低く、オーストラリア東部では異常低温となった。

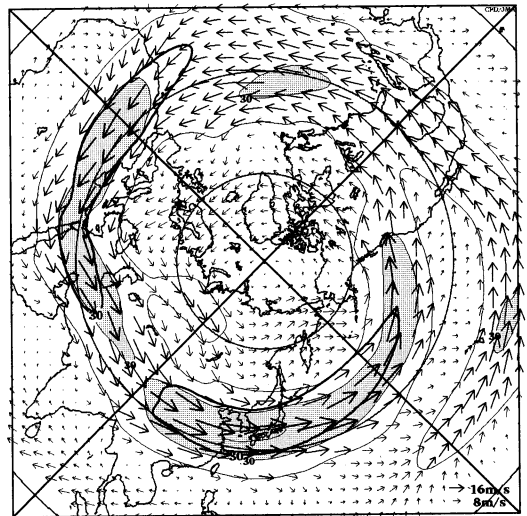
⑫ オーストラリア北部の少雨

オーストラリアでは干ばつによる農作物への被害が報じられた。

(気象庁気候・海洋気象部気候情報課 藤田 匡)

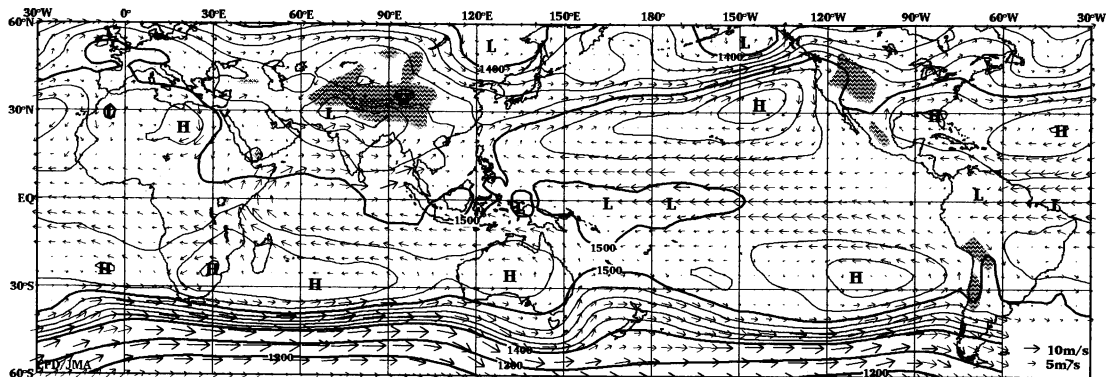


2001年5月の北半球月平均500 hPa 高度および平年偏差
等値線間隔は60 m, 偏差パターン間隔は30 m, 平年値は1979~1993年のECMWF15年再解析データによる。

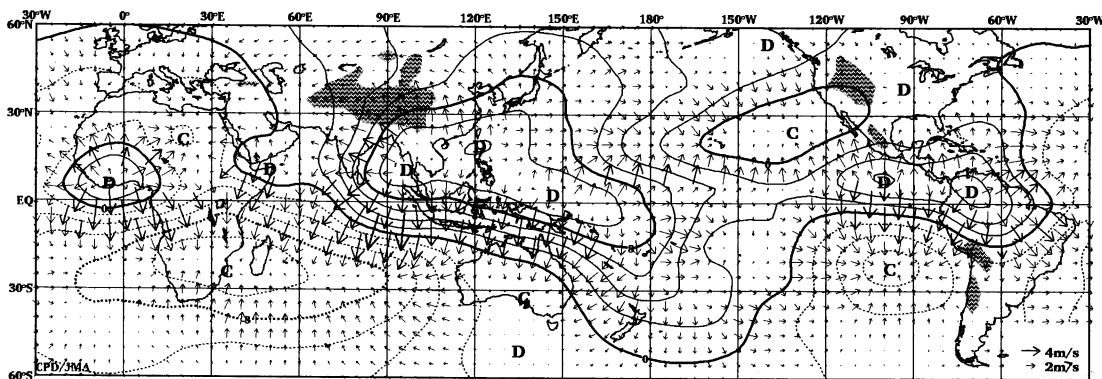


2001年5月の北半球月平均200 hPa 風速および風ベクトル

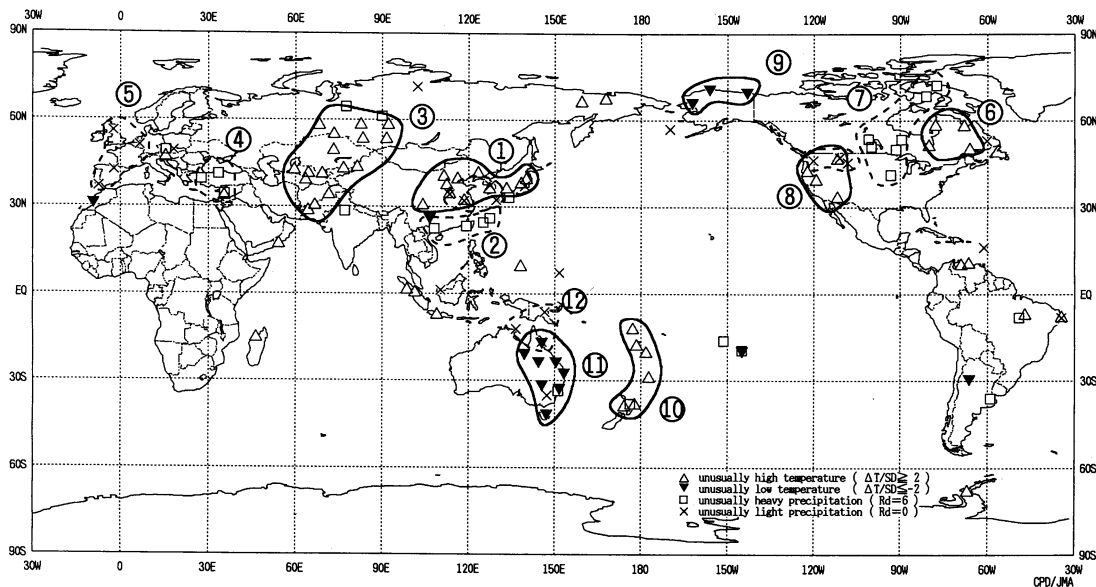
等値線間隔は15 m/s. 陰影部は平年で30 m/s以上, 太実線で囲まれた領域は平年の30 m/s以上の領域を示す. 平年値は1979~1993年のECMWF15年再解析データによる。



2001年5月の月平均850 hPa高度および風ベクトル 等値線間隔は20 m (1400 mまでは100 m)



2001年5月の月平均200 hPa速度ポテンシャルおよび発散風ベクトル 等値線間隔は $2 \times 10^6 \text{ m}^2/\text{s}$



2001年5月の世界の異常天候分布図 △異常高温 ▼異常低温 □異常多雨 ×異常少雨
 異常高温・低温は標準偏差の2倍以上, 異常多雨・少雨は降水5分位値が6および0, 図中の番号は本文中の番号と対応している.